

新たな取組みで農地集積を加速化 ～平成 29 年度府当初予算案～

2月府議会に提案される京都府の当初予算案に、農地中間管理機構を実施主体とする耕作放棄地再生や、小規模な耕作条件改善の取組みを支援する予算が盛り込まれています。詳細については今後示されることとなりますが、府内における耕作放棄地の再生、条件整備に一層取り組みやすくなります。積極的に活用すれば、これまでマッチングが難しかった条件不利農地の活用や、営農規模の拡大、生産コストの削減も可能となります。機構では、農地再生などをきっかけに地域全体の農地の有効利用に繋がるよう積極的に取り組んでいきたいと考えています。

耕作放棄地再生による農地中間管理事業の推進をめざして

現在、久御山町において機構主体で耕作放棄地再生交付金を活用した再生事業を実施中です。府内各地に存在する耕作放棄地の再生のモデルとなるよう、町と連携しながら取り組んでいます。今回のケースは、農地所有者が府外在住であり、自ら耕作することができず管理に困っておられたところ、地元農業者が再生を条件に借受けるという形でマッチングが整ったもので、重機を用いた再生作業などを一部国庫補助で行う予定です。なお、再生交付金は、農業振興地域内の農用地であることなど、活用する補助金によって交付要件がありますので、詳細につきましては京都府担い手育成総合支援協議会（京都府農業会議）までお問い合わせください。



(耕作放棄地再生事業活用予定の農地)

京力農場づくり推進大会がガレリア亀岡で開催されました。



去る1月30日に亀岡市のガレリア亀岡において京力農場づくり推進大会が開催されました。当日は400人を超える農業者の皆さま、関係団体の方々が出席されました。

まずは、島根県の浜田市産業建設課岡田係長より、基調講演として、中山間地である浜田市弥栄自治区が、人・農地プラン作成をきっかけに、「自分ことではなく、地域の未来を考える」「状況は厳しいのはあたりまえ。それをどうするか」という視点から、行政との話し合いを重ね、地域の意識改革を促し、1

2の集落営農が枠を超え連携し新ブランドを誕生させ、「(一社)奥島根弥栄」を設立するまでの経緯が、わかりやすく説明されました。事例報告では、南山城村における柿渋づくりに遊休農地を活用する事例(柿渋プロジェクト)や、地下水位制御システム導入による収量増や品質向上(誠農海部(株))、住民出資により購買・農事・福祉の三本柱で地域の拠点としての法人経営((有)タナセン)など、地域の現状に合わせた事業を展開する各法人の取組みが紹介されました。

☆参入企業の真剣な取組み紹介⑨☆～阿部農地利用推進員レポート～

「S」をキーワードに多様なサービスを地域へ提供！

「Speciality」「System」「Safety」「Speedy」それを支える「Spirit」の「S」の姿勢を様々な事業を通じて具現化する三煌産業株式会社。同社の渡邊裕文会長が代表をされている「株式会社三煌アグリブレンシステム」は、三煌産業の「S」の系譜を農業にも実践しています。京の台所として昔から貢献している京都・亀岡の立地を有効に生かし、公共研究機関と連携の下に新規需要を創造し、産地の競争力の強化と休耕田の活用による地元地域の活性化を目的に、機能性の高い野菜類の開発・栽培・加工、流通体制確立による新しい農業システムづくりを目指しています。



（「新しさを創造」する工場と直売所）

6次化や直売所の充実にも積極的な取組を図り、グループ関連

会社と共に地域の発展に貢献し、そこに住む人々に様々なサービスを提供し続けています。農地中間管理事業への理解も深く、地域農家との連携や、地産地消ための商品開発を推し進めておられ、渡邊 裕文代表の卓越した指導力と圧倒的な存在感を感じた今回の取材でした。



（新種「パープルスイートロード」と紫芋焼酎(左)・紫芋リキュール）

貸付希望農用地の現地見学会を開催しました

来年度からの本格的な実施に向けて、去る1月20日に南丹市園部町において現地見学会を開催しました。マッチングを促進するため、来年度から農地中間管理機構に登録されている貸付希望農地の現地見学会を開催することとしており、今回は試験的に実施しました。現地近隣での営農や規模拡大を希望する4経営体の参加があり、当日はあいにくの雪の中でありましたが、農地中間管理事業推進室長より、アクセスや



（現地見学を前に説明を聞く参加者。当日は大雪）



（農地シートと併せて現地の状況を確認する参加者）

近隣店舗といった農地の立地や鳥獣害の有無、水はけといった農地の詳細な情報を記載した「農地紹介シート」を配布し、貸付希望農用地の状況を説明し参加経営体の皆さんにPRしました。また、担当の農業委員にも参加いただき地域の特徴などの説明も加えていただきました。参加者からは、希望に添う農地を借り受けられるよう今後も是非参加したいとの声が聞かれました。

❀ イベントガイド ❀

| 開催日 | 催事名 | 会場 | お問い合わせ |
|----------|---|-----------|--------------------------------|
| 3月10日(金) | 農地農政相談 | 福知山市内複数会場 | 福知山市農業委員会事務局 |
| 3月16日(木) | 山城地域就農相談日 | 府木津総合庁舎 | 山城北農業改良普及センター 山城南農業改良普及センター |
| | ◆ある程度の就農準備ができている方を相談対象として想定しております。 ◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので、御了承ください。 | | |

京都府農地中間管理機構では、平成28年4月から「FarmBankNews」を発行し、農地中間管理事業を中心とした様々な情報をお届けします。